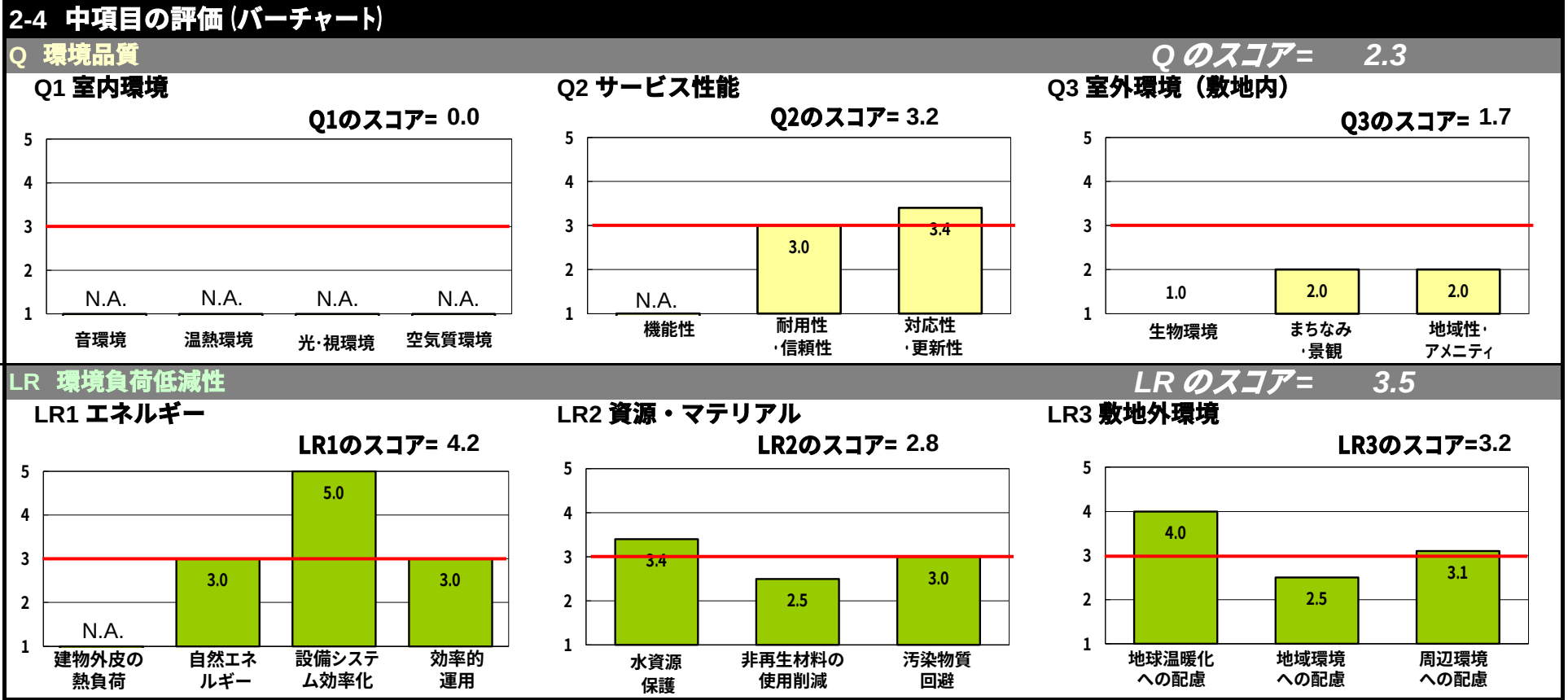
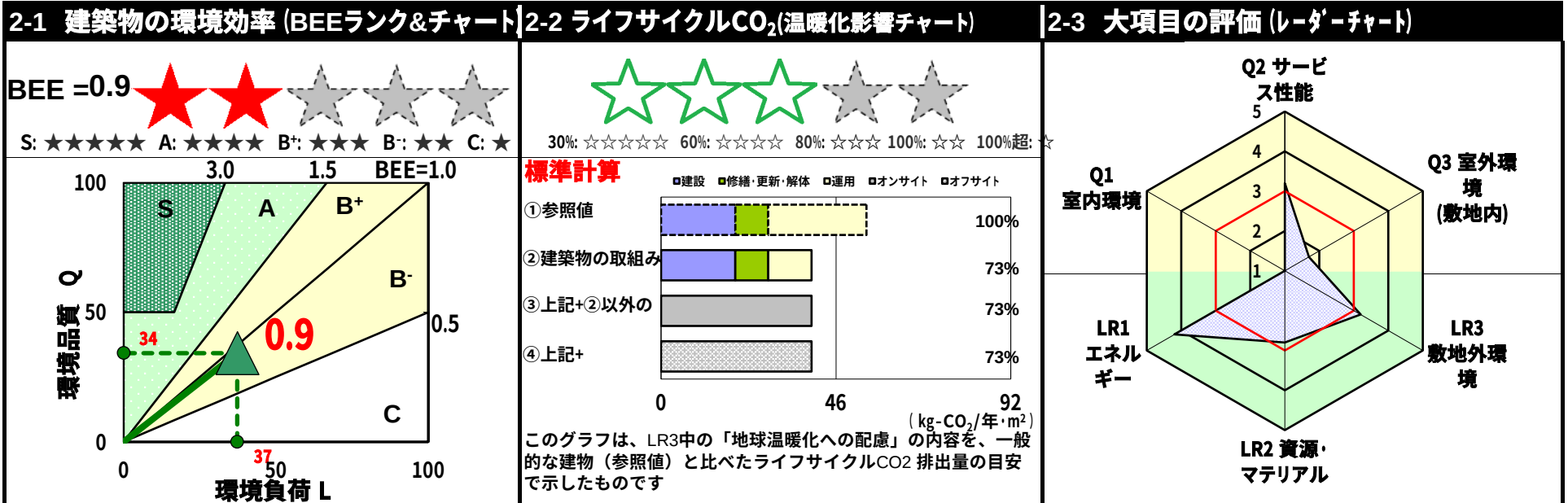




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社横浜リテラ 新棟第二工場新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市戸塚区上矢部町1966番2	構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日	2019年10月18日
敷地面積	2,767 m ²	作成者	株式会社 日新工営
建築面積	1,621 m ²	確認日	2019年10月18日
延床面積	4,348 m ²	確認者	株式会社 日新工営



3 設計上の配慮事項		
総合 横浜市戸塚区に計画された工場である。 節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い外装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地内を積極的に緑化を行い、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・屋外照明の計画は、周囲への漏れ光に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号 (①～) を示し記述してください。

建物名称 株式会社横浜リテラ 新棟第二工場新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

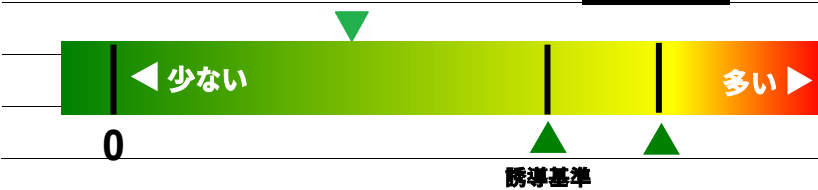
重点項目への取組 (5点満点)

[省エネルギー性能]

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 56 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2019年11月6日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEIm:0.44

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組 (5点満点)

[快適・働きやすさ]

2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境 (敷地内) 対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組 (5点満点)

[防災]

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯金属断熱サンドイッチパネルを採用。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組 (5点満点)

[地域・まちづくり]

2

■室外環境 (敷地内) 対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
0 建築物の環境品質					-		-	2.3		
Q1 室内環境					-		-	-		
1 音環境				-	-	-	-	-		
1.1 騒音				-	-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能 (軽量衝撃源)				-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能 (重量衝撃源)				-	-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-	-		
2 温熱環境				-	-	-	-	-		
2.1 室温制御				-	-	-	-	-		
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-		
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-		
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-		
3 光・視環境				-	-	-	-	-		
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-		
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-		
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-		
4 空気質環境				-	-	-	-	-		
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-	-		
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.43	-	-	3.2		
1 機能性				-	-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.50	-	-	3.0		
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-	-		
1 耐震性		防 災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-		
2 免震・制振性能		防 災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		防 災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	-		
1 空調・換気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水・衛生設備		防 災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法		防 災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備		防 災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-		
3 対応性・更新性				3.4	0.50	-	-	3.4		
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	-		
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-		
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	-		
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-		
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	-		
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-		

CASBEE®横浜 | 評価結果 | 31-101



CASBEE横浜2017年版v.1.7

株式会社横浜リテラ 新棟第二工場新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート				実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目				<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-		
Q3 室外環境 (敷地内)						-	0.57	-	-	-	1.7	
1 生物環境の保全と創出				地域・まちづくり	⑮生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮				地域・まちづくり	⑰まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				地域・まちづくり	⑳地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	-	3.5	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制				省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	-	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用				省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.63	-	-	-	5.0	
4 効率的運用						3.0	0.25	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価						3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	-	2.8	
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	-	3.4	
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	-	2.5	
2.1 材料使用量の削減						3.0	0.11	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用						3.0	0.22	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						3.0	0.22	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						1.0	0.22	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						-	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み						3.0	0.22	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20	-	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	-	-	
1 消火剤						-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤 (断熱材等)						3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒						3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	-	3.2	
1 地球温暖化への配慮						4.0	0.33	-	-	-	4.0	
2 地域環境への配慮						2.5	0.33	-	-	-	2.5	
2.1 大気汚染防止						3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減						3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制						5.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						1.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.1	0.33	-	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音						3.0	0.50	-	-	-	-	
2 振動						3.0	0.50	-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制						3.7	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						4.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光 (グレア) への対策						3.0	0.30	-	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	-	-	
<事務所用途>							-	-	-	-	-	
知的生産性向上への取組				快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	-	-	
健康と安心							-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質の対策				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
2 適切な換気計画				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
3 結露・カビ対策				健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-	
4 犯罪に備える (共用部の防犯対策)				健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-	